



先生のモットーを教えてください

めになると思っからこそ、一生懸命に取り組むことができると思っています。

エゴグラム診断のメリットは何ですか？

どうしても主観的な視点で生徒のことを見てしまいがちですが、エゴグラム診断を通して、生徒を客観的な視点で見ることができるとメリットだと思います。例えばAC(=Adapted Child) 順応した子ども(の心)の部分の場合、日常接してい

とコミュニケーション能力が向上しているなど実感しています。

非常にクラスの雰囲気が良いと感じました

1年生の時は、生徒の反応も薄く、比較的大人しいクラスだったんです。そのため、クラスの雰囲気づくりにしても気を配りました。せっかくこのクラスになったのだから、できるだけクラスの輪を大事にしたいという気持ちを私自身が持っていましたので、グループ学習の授業を通して、また、他の面からも

常々、クラスを意識させる雰囲気作りを行ってきました。例えば、ショートホームルームの時間では、生徒の会話の中に私個人の家庭での出来事を話して紹介したり、生徒一人ひとりに話しかけたりなど。また、クラスでの行事なども一つひとつを情熱を込めて取り組むことでクラス全体に一体感が生まれてきたと思います。

グループ学習の進め方で心がけていることは

グループ学習の授業には、マニユ



グループ学習で生徒も教師も向上できる モットーは“常に生徒のために”

インタビュー
柳沢 勝美 先生

るだけでは気づきにくいところが、エゴグラムを見ることでACが高ければ、「この生徒は何かストレスがあるんだ」と知ることができます。そうした生徒の見えない部分、気づかない部分を客観的に見ることができ、それを基にクラス運営に活用できることがクラスにおけるエゴグラム診断のメリットだと思います。また、生徒個人で見た場合、1年生の頃は、興味を持ち、ある意味で楽しみながらエゴグラムを行っていましたが、段々と自分のエゴグラムの変化を意識しながら取り組むようになってきました。これも「生徒のために」につながる部分だと思っています。

グループ学習について

グループ学習の授業は、学級集団の作り方に非常に役立っています。クラス全体のまとまりや集団の



アル的な進行例があります。

しかし、それをその通りに行うのではなく、できるだけ自身の言葉で生徒に話しかけるように心がけています。今回の授業で行ったプログラム「10年後の私からの手紙」でも、実際に私が書いた自分への手紙の内容を生徒の前で披露しました。

少し恥ずかしい気もしますが、こうしたことで生徒がプログラムに取り組みやすくなるのではないかなと思っています。

また、事前の準備も重要です。K A教育の菊地さんからも言われましたが、グループ学習は最後のまとめの部分が重要なんです。

そのまとめの部分を生徒に上手に伝えていくには、やはり、事前に内容を踏まえた上でどのように生徒にアプローチしていくかを考えることが大切だと思います。

グループ学習で難しいところは

それは教師の側の力量が問われるところですね。先ほど述べた通り、マニユアル通りに行っただけでは、生徒に効果的に伝えることは難しくなります。やはり知識やノウハウの蓄積も求められます。その意味では、生徒の向上だけでなく、教師の側の向上も必要といえるのではないのでしょうか。

そのため、私も県の研修会や、K



中の個人という点でグループコミュニケーションの授業を行うことが役立っていると思います。グループの作り方は内容・テーマによって異なり、生徒が自主的に決める場合もあれば、私のほうで決めたりすることもあります。また、グループの中のリーダーの選出も1年生の頃は私から指名したりしていましたが、2年生の後半の頃にもなると、生徒が自分たちで決められるようになってきました。こうした点もグループ学習そのものの効果の一つだと思います。

そうした中で、生徒一人ひとりが自分の意見を言うようになったり、人の話を聞けるようになったり、A3D教育主催の情報交換会やグループコミュニケーション公開授業などにも参加してきましたし、今後も積極的に参加し、自身のスキルアップに努めていきたいと思っています。

★『3D教育プログラム』でココが変わった！

- ・クラスの集団としてのまとまりがよくなった
- ・他の人の意見を認められるようになった
- ・自分の意見をしっかり述べられる生徒が増えた